

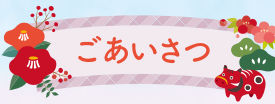


はいたい！じんぶん館だより担当の菜亜です。
11月は久米島高校園芸科の園芸祭がありました。

今年は、コロナの影響で沢山のイベントが中止となっている中、園芸祭は無事に開催することができました。コロナ禍で大変な時期ではありましたが、去年より多くの方が来てくれました。

私たち1年生も初めての経験だったので、とても楽しみながら販売することができました。

来年も沢山の来客者で溢れる園芸祭になるように毎日学校での活動を頑張ろうと思います！



2020年はとても大変なスタートでしたが、久米島の皆様のご協力があり、無事に終えることができました。2021年も、じんぶん館をよろしくお願ひいたします。



はいたい！紀鈴です。私は12月まで久米島で過ごしてきた、特に島親さんとの交流で、いちゃりばちよーでーの想いがとても温かくて大好きになりました！



久米島のことが何もわからず、不安だらけだったけど、本当の家族のように接して支えてくれる島親さんがいて、とても安心しました！あと3か月で新1年生が入ってくるので、私たち寮生がみんなを支えられるように頑張りたいです！

じんぶん館ブログ “離島留学生の日々”も随時更新！是非こちらも読んでください。

QRコードで読み取ってください→



明けましておめでとうございませう。令和3年のお正月皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は、コロナの影響もあり、自宅で過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。

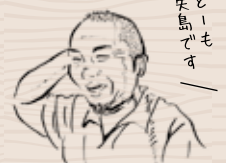
さて、年明け第1回目の「家や宝」の内容は、他地域の取組について紹介させていただきます。紹介するのは、沖縄県うるま市の島しょ地域である平安座自治会の空き家の改修・賃貸システムについてです。平安座島でも空き家の活用が問題になっており、その対策として、自治会が主体となって取り組んだ事例になります。

まず、空き家の所有者は自治会と5年間の賃貸借契約を締結し、自治会は200万円までの費用を負担して修繕工事を行います。そのうえで、転借人を募集しその賃料の中から60回に分割し200万円の原資を返済金にあてます。管理については、地元の不動産業者



「他地域の取組について」

「他地域の取組について」



じーも 久米島です



に管理委託しその残金を所有者に毎月自治会が支払うといったスキームになります。現在、この方法で3棟の空き家を改修し運営を行っているところです。これは、久米島町が行っている「空き家活用促進補助金」と同じで、改修費用がきっかけで活用を進めていく制度になります。民間でもこんなことができるだろうかと考えた年末年始でした。

※1月の空き家活用相談は、コロナウィルス感染対策もあり、まずはお電話にてお問い合わせください。

お問い合わせ先 場所: コワーキングスペース仲原家 (字真謝20番地) ☎894-6488 info@shimagurashi.net